

記念すべき第三十回。力作で飾る

第30回白根市美術展覧会

六月五日から十日までの六日間、白根学習館で白根市美術展覧会が開催されました。記念すべき第三十回となる今年は、六部門に二百三十一点の力作のほか、第一回から三十回までの市展のポスターも展示されました。また、今までの賞に加え、「30回記念賞」と「新潟日報美術振興賞」が設けられ、数多くの作品が入賞し、節目を飾りました。入賞者は次のとおりです(敬称略)。

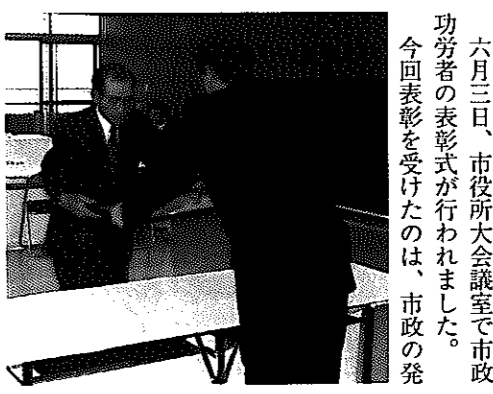
【市長賞】
日本画Ⅱ 田原宏明(大通南) 洋画Ⅱ 上杉昭芳(古川) 書道Ⅱ 檜川仁志(三条市) 写真Ⅱ 阿部繁(新津市) 美術工芸Ⅱ 遠藤三津美(湯東村) 【30回記念賞】
日本画Ⅱ 薄田弘(四ツ野野) 洋画



Ⅱ 中山紀子(上塩俵) 書道Ⅱ 細貝漢子(大通南) 写真Ⅱ 木下信雄(味方村) 美術工芸Ⅱ 関屋笑美子(諏訪木) 【新潟日報美術振興賞】
日本画Ⅱ 星野策次郎(鯉沼) 洋画Ⅱ 関根トキイ(下茨) 書道Ⅱ 近藤静江(鯉沼) 写真Ⅱ 笠原行太郎(道湯) 【議長賞】
日本画Ⅱ 鷲尾善一(湯東村) 洋画Ⅱ 布施忠二(上塩俵) 書道Ⅱ 加藤登士寛(味方村) 写真Ⅱ 武田辰夫(蔵主) 美術工芸Ⅱ 吉田玲子(白井) 【教育長賞】
日本画Ⅱ 本間秀雄(新潟市) 洋画Ⅱ 川瀬美優喜(水道町) 書道Ⅱ 佐藤香苑(古川) 高橋光華(五六の町) 林和子(月湯村) 柳可奈子(諏訪木) 写真Ⅱ 五十嵐勝男(道湯) 笹川良一(魚町) 美術工芸Ⅱ 笠原徹(湯東村) 【協会長賞】
日本画Ⅱ 薄田フユ(味方村)、柏千慧(下木山) 洋画Ⅱ 石山洋子(味方村) 書道Ⅱ 高野恒月(古川団地)、田村洋子(月湯村)、西方一幸(能登)、山際英子(桜町)、渡辺弘山(丸湯) 写真Ⅱ 五十嵐智恵子(高校前通)、田村正弥(月湯村)、富取徳夫(中央通) 美術工芸Ⅱ 林陽子(新津市)

自治振興への功労に感謝

平成14年度市政功労者表彰



六月三日、市役所大会議室で市政功労者の表彰式が行われました。今回表彰を受けたのは、市政の発展に貢献された方々です(敬称略)。
【自治功労】阿部秀一(六十六歳・庄瀬三)：多年にわたり地区公民館副館長として社会教育の振興と市政の発展に寄与されました。赤塚憲一(五十歳・美咲町)：多年にわたり白根市体育指導委員としてスポーツ振興に寄与されました。【産業功労】坂上博義(七十歳・保坂)：多年にわたり農協役員として農業経営の安定と本市農業の発展に寄与されました。【感謝】田村和雄(七十二歳・桜町三)：市の文化向上のために風を寄附されました。

進出企業2社目に

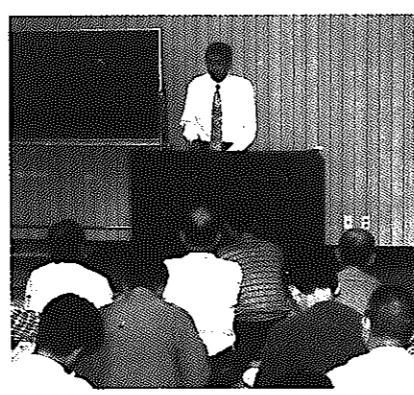


北部第2工業団地売買契約 このほど、北部第2工業団地へ進出する企業との売買契約が市役所で行われました。
今回契約を交わした企業は、米原商事(本社・富山県砺波市、米原善社長)で、区画面積は六千六百一十平方メートルです。同社は貨物運送や建設重機リースを主な業務としている会社で、北部第2工業団地への進出後は、茨城県地区の営業所を廃止する予定です。
これで進出企業は三月の(株)ダイヤモンド製作所(名田和弘社長)に続いて、二社目となります。

TOPICS まちの話題

市長との懇談会を開催

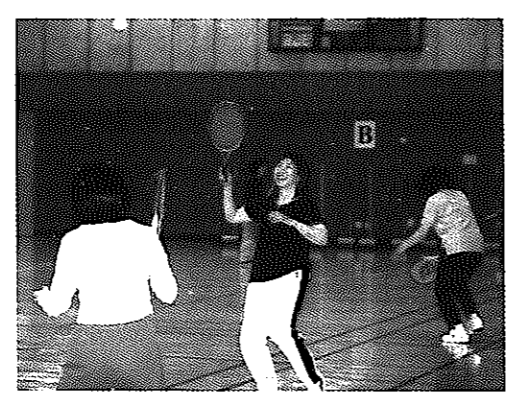
白井町内会



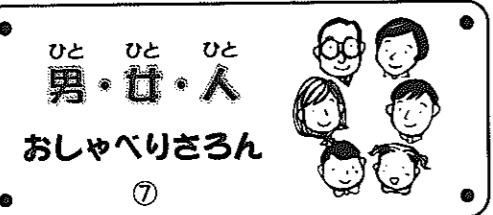
五月三十一日、白井公会堂で、市長と白井町内会(高橋正也会長)との懇談会が行われ、地域住民約五十人が出席しました。
最初に、吉沢市長が地区の環境整備状況と市町村合併問題について講演。その後、住民から白井小学校のスクールバスの進路整備、町内の排水対策、市町村合併問題などについての意見、要望が出され、活発な懇談会となりました。
市では、市長との懇談会を希望される団体、サークル等を募集しています。問い合わせは、白根市企画財政課秘書広報係(☎373・2111)へ。

楽しみながらいい汗を

レディスポーツセミナー



五月十五日から七月十七日までの毎週水曜日、カルチャーセンターでレディスポーツセミナーが行われています。ニュースポーツは普段目にしていないスポーツをやりやすく改良したもので、うまくなるより、笑顔で楽しむことが目的です。
初日は十三人が参加し、スポンジボールを使うバウンドテニスで、楽しく心地よい汗を流しました。
ある参加者は「簡単に見えたけど結構な運動量だった。一人ではなかなかここまで汗をかけない。本当に楽しかった」と笑顔を見せました。



女であることの得と信(1)

「女はいいなあ」と男性に言われたら、女性であるあなたはうれしいですか? それともムッとしますか? 逆に男性であるあなたが「男はいいわよねえ」と女性に言われたら、どう感じますか? 今月から何回かにわたって、性別による「損」と「得」について考える話題を提供します。一緒に考えてみましょう。

★女の得
あるアンケートによると、女で「得」をしたと感じるのは「力仕事を手伝ってもらえる」といった、体力的な「弱さ」などを理由に保護されたときが多いようです。この「弱さ」から「涙は女の武器」と言わしめたり、「女性だけの割引デー」があったり、「おごってもらるのが当たり前」という「女の得」が生まれているようです。

★女って、が弱い...
結果的に、男性より女性が優遇される場面が生じているのは事実ですが、この背後には、女性というものは心理的・精神的・肉体的に「か弱い」存在であり、「保護されるべき」存在、「甘えが許される」存在であるという見方があることを見逃すわけにはいきません。

★女は一人前じゃない??
しかしこれは、もっと突き詰めれば一人前に扱われていないということです。「甘えが許される」ということは、その人の言動が軽視されている、または責任を取るべき立場にない、ミスも見逃してもらえということでもあります。



★お得ですが...
女性を保護するという視点でのプレゼントや割引は、逆に言えば、女性の社会的地位を低いものにしていく、社会構造の現れであるともいえるのです。

★割り勘は喜ばしきこと
「デートに誘われたのに割り勘だった」と憤慨しているあなた、それはあなたが一人前の人として認められている証なんですよ。



「おしゃべりさん」は白根学習館ホームページでもご覧いただけます
(http://pc2.gakushyukan-shirone-unet.ocn.ne.jp)